

心サルコイドーシス

⑦ 疑う為のヒント

20人に1人が心臓にもサルコイドーシスを来たすことが分かって来ている。

① 他臓器のサルコイドーシスがある。

特に肺、皮膚、眼。

心臓のみのサルコイドーシスもあるが、他臓器サルコイドーシスが合併していることが多い。

① 胸部X-pでBHLがある。

肺BHLははっきりしない場合は、CT胸部で縦隔LN腫脹がないか確認する。



② 皮膚サルコイドーシスがないか？

皮膚サルコイドーシス（皮膚科紹介必要）


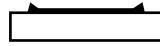


サルコイドーシスの皮膚病変 特に顔面鼻の横、額、頬、膝、肘が好発。

皮膚のみのサルコイドーシスは34～36例に10例。

- ① 結節性紅斑 発赤を伴う有痛性の皮下結節～硬結、両側下腿伸側に好発。
- ② 癬痕浸潤 外傷の癬痕部やBCGの接種部位、刺青などに肉芽腫反応が生じて赤く腫れる。多くは赤褐色の丘疹、結節やそれらが癒合した病変。特に膝、肘、顔面に好発する。

③ 皮膚サルコイド

4大病型

- ① 結節型  鼻～眼を中心に顔面に好発
- ② 局面型  前額部を中心に顔面に好発する。辺縁はやや堤防状で赤く、中央部は正常皮膚色～脱色素性
- ③ びまん浸潤型  わが国ではマシ、凍瘡様の病変で凍瘡の好発部位（手指や耳など）に生じる。
- ④ 皮下型  四肢、臀部に好発。皮下の弾性硬の結節・硬結をコリコリ触れる。大きさは未豆大～鳩卵大。

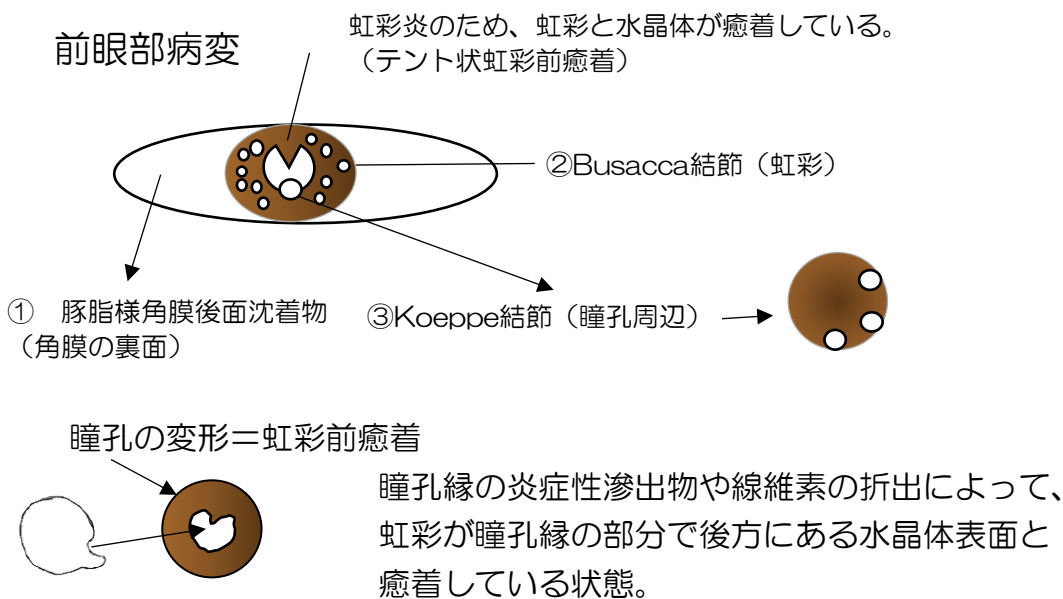
⑤ その他 ①苔癬型 扁平な小丘疹が局所～広範囲に多発、集積する。毛孔一致性に生じる事もある。

- ② 魚鱗癬様皮疹 主に下腿
- ③ 疥癬様皮疹 主に下腿
- ④ 潰瘍型 下肢

眼サルコイドーシス

眼科へ紹介する前に・・・・・・・・

- ① サルコイドーシスの眼病変は、肺病変について多く、30～60%に両眼性の肉芽腫性ぶどう膜炎を生じる。
- ② 20～30才台（男女とも）、50～60才台（女性）の2峰性のことが多い。
- ③ ぶどう膜炎とは、ぶどう膜（虹彩、毛様体、脈絡膜）や網膜、強膜、ときに視神経などに炎症細胞浸潤が生じている。
ぶどう膜炎の原因としては本邦で最も多いのはサルコイドーシスである。
自覚症状としては霧視、視力低下、飛蚊症、充血、眼痛、羞明などが見られる。
- ④ このうち前眼部病変としては、肉芽腫性前部ぶどう膜炎として角膜裏面に生じるぶた脂様角膜後面沈着物や虹彩結節（虹彩実質に生じるBusaccaque）が見られる。
- ⑤ 隅角には隅角結節、テント状周辺虹彩前癒着（PAS）が見られる。
広範囲に生じると眼圧上昇の原因となるとある。



- ② めまい、（突然の）暗黒視、失神（中高年女性）
- ③ 血清ACE値の上昇（リボチーム、Lymphmaとの鑑別は可溶性IL-2R）
(インターロイキン2レセプター)
- ④ 心電図
中高年女性のRBBB、二束ブロック、Ⅲ° AVB、VT、VF、PCV（多源、ショートラン）、 $RV_3 < RV_2$ 、異常Q
- ⑤ 心エコー
 - ①IVS上部の菲薄化（4mm）
 - ②HCM
 - ③DCM+CRBBB
 - ④心室瘤
 - ⑤心室壁Asynergy（IVS、左室Post-Lat、PMを含むLV自由壁、RV自由壁）